

7. 検討結果及び整備方針

【境第一中学校区域】

境第一中学校区域内の学校については、境小学校及び境第一中学校は、当面の間、適正規模を確保できる見込みです。また、長田小学校については、現在適正規模を下回る状況ですが、令和5年度以降については、適正規模を確保できるため、今後の児童生徒数など教育環境の状況を見守ることとします。

静小学校は適正規模を下回っていることから、前記4.（4）の適正化の進め方に基づき、まず、通学区域の見直しによる適正化を検討しましたが、学校規模の適正化が図れないとともに、通学に係る地理的環境からも難しい状況です。

次に、静小学校に隣接する小学校との統合による適正化を検討しましたが、隣接する境小学校又は長田小学校、どちらの小学校との統合も、統合後の学校は適正規模となります。しかし、相手校となる境小学校及び長田小学校において、今後、児童数の増加要因がある中で、それぞれの学校施設規模が統合後の学校規模に適合するか見定める必要があります。

このため、静小学校については、当面の間は小規模校のまま存続させ、小規模校としての特性や、地域性を活かした教育活動を推進します。

今後、複式学級（※）の発生が継続的に想定される状況が見られる場合には、後期の学校再編整備計画（令和9年以降～）において、近隣校との統合を検討していくこととします。

※ 複式学級：複式学級とは、連続する2つの学年の人数が16人（1年生を含む場合は8人）に満たない場合、1つの教室で2学年が同時に授業を受ける学級。

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
3人	5人	15人	6人	8人	12人

1年生を含む8人以下のため、
1・2年生の複式学級となる

16人以下のため、4・5年生
の複式学級となる

メリット		デメリット
- 一人一人に目が届きやすい。 - 学校行事で、個別の活動機会を設定しやすい。	学習面	- 切磋琢磨する機会が少なくなり、グループ活動などの多様な学習形態をとりにくい。 - 運動会や音楽活動などの集団教育活動に制約が生じる。 - 教員の数が減り、二学年を一人で指導するため、直接的な指導を受ける時間が不足し、自学自習などが必要になる。
- 相互の人間関係が深まる。 - 異学年間の縦の交流が生まれる。	生活面	- 人間関係や相互の評価などが固定化する。 - 集団の男女比に偏りが生じやすい。 - 充実した組織的な係活動や班活動ができない。
- 全教員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が取りやすい。 - 学校が一体となって活動しやすい。 - 施設・設備の利用時間などの調整が行いやすい。	運営面	- 教員の数が減るため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行いにくい。 - 一人に校務分掌が集中しやすい。 - 教員の出張や研修などの調整が難しくなる。
- 保護者や地域社会との連携が図りやすい。 - 災害発生などによる緊急避難時に混雑が生じにくい。	その他	PTA活動などにおける保護者一人当たりの負担が大きくなる。

【境第二中学校区域内】

境第二中学校区域内の学校については、猿島小学校、森戸小学校及び境第二中学校の3校全てが適正化の対象となっています。

猿島小学校と森戸小学校については、同一中学校区内の両校における通学区域を見直すこと、また、隣接する中学校区域内の隣接する境小学校区内の陽光台2丁目を猿島小学校区域に編入することで適正化が図れるかを検討しましたが、児童数の増加は見られるものの、学級数においては境町における適正（望ましい）と考える学級数には満たないため、学校規模の適正化は図れない状況です。

次に、統合による学校規模の適正化を検討したところ、継続的に適正学級数（全校12学級以上）の維持は見込めませんが、ほぼ適正化が図られる学校規模となります。

従って、児童が集団の中で多様な考えに触れ、お互いに切磋琢磨しながら、より一層、児童の資質や能力を伸ばしていけるよう、望ましい集団規模の確保のため、猿島小学校と森戸小学校を統合します。

境第二中学校については、隣接する境第一中学校との通学区域の見直し又は統合による学校規模の適正化を検討しましたが、適正化は難しい状況です。

境町における中学校の適正（望ましい）学級数については学年3学級以上としていますが、3学級確保ができない場合は、少なくとも学年2学級以上（全校6学級以上）が必要であるとしています。

この点で、境第二中学校は、今後学年2学級は維持して行ける状況ですので、学校規模としては現状のままとしながら、猿島小学校と森戸小学校の統合によって、学区内に小学校、中学校が1校となることから、統合後の小学校と境第二中学校を小中一貫型の学校として再編することで、学校全体としての児童生徒数や教職員数を確保することにより、より効果的な教育体制づくりを進めます。

境第二中学校区域内の3校の学校再編は、小学校校舎の老朽化による状況も考慮し、前期の学校再編整備計画（令和5年～）として取り組みを進めます。

